

責任投資に関する方針声明



ヌビーン(以下、「当社」)は、責任投資慣行を当社の義務と責任の重要な項目と見なしています。

本方針声明は、当社の主要原則、役割と責任、および責任投資(RI)プログラムの実施を 支援するために設計されたガバナンス構造の概要を示しています。

目次 責任投資に対する当社のコミットメント 3 当社について 責任投資の歴史 お客様へのコミットメント 適用範囲 責任投資の実践:プログラム実施へのアプローチ 4 スチュワードシップ エンゲージメント 権利と責任 政策提言とアドボカシー ESGインテグレーション インパクト 気候リスク データとテクノロジー 除外方針 外部ガイダンス 報告と透明性 規制上の考慮事項 利益相反 10 ガバナンスに対する当社のアプローチ 役割と責任 ガバナンスと監督 取締役会による監督 経営陣の説明責任 部門横断的な実行 インセンティブと業績管理 方針の見直しと更新プロセス

2

責任投資に対する当社のコミットメント

当社について

当社は、TIAAの投資運用部門として、機関投資家および個人投資家の長期的な財務目標を達成するために設計された幅広い成果重視型の投資ソリューションを提供しています。

当社の投資スペシャリストは、伝統的資産および オルタナティブ資産にわたる幅広い専門知識を有 し、多様な投資ビークルやカスタマイズされた戦略 を通じてサービスを提供しています。

TIAAの子会社であり、その一般勘定の投資運用を担う立場は、お客様の利益と目標を長期的に一致させるものであり、当社はTIAAの一般勘定の責任投資プログラムを実施しています。

責任投資の歴史

当社の親会社であるTIAAの責任投資の歴史は 50年以上にわたり、1970年代には社会問題に関して企業と対話を開始し、1990年には業界で初めての責任投資専用商品を立ち上げました。投資運用活動(スチュワードシップや責任投資商品の開発を含む)は、当初TIAA内で行われ、その後ヌビーン・ブランドに移管されました。この歴史は、当社が資産クラス全体に責任投資プログラムを展開するための強固な基盤となっています。

当社は数十年にわたり果たしてきた役割を誇りに 思うとともに、投資のバリューチェーン全体で責任 投資に関連する有益な成果を達成してきた歴史を 大切にしています。

当社は、お客様に代わって責任を持って投資を行うことに引き続き取り組み、お客様の最善の利益 を実現する方法を絶えず改善していきます。

お客様へのコミットメント

当社は世界で1.3兆ドルの資産1を運用する受託者として、お客様のために長期的な投資価値を創造することに尽力しています。

お客様は、当社が財務目標達成を支援するうえで、責任ある資産運用者であることを期待しています。当社における責任投資は、投資家により良い成果をもたらすことを目指し、お客様の指示に沿う場合には、社会資本や環境資本の改善にも寄与します。この理念とアプローチは、投資におけるリスクと機会の管理に貢献し、持続可能な長期的価値の創造につながると考えています。

責任投資の実施にあたっては、お客様の意向やフィードバックを反映し、資産がお客様の期待に沿って運用されるよう努めています。当社はこの責任を真摯に受け止め、常にお客様の最善の利益を中心に据えて責任投資活動を行います。

当社の方針や実務は、進化するお客様の期待、 規制要件、市場動向に対応できるよう、引き続き 発展・変革していきます。

^{1 2024}年12月31日時点

適用範囲

本方針声明は、ヌビーン・エルエルシーおよびその 投資関連会社に適用され、当社がグローバルに提 供する投資ソリューション全般を対象とします。

当社は、地域ごとの規制要件、ローカル市場の基準、お客様の期待といった地域特有の要素を考慮しつつ、グローバルで一貫した責任投資アプローチを実現することを目指しています。

責任投資アプローチは、資産クラス、発行体の種類、基盤となる資産、投資戦略、ファンド・ビークル、適用される規制および受託者責任などによって異

なる場合があります。また、一部のケースでは特定 の責任投資活動が関連性を持たない、または適用 できない場合もあります。

本方針声明は、必要に応じて資産クラス、戦略、ファンドに特化した文書によって補足されます。

なお、本方針は当社がお客様に代わって運用する 投資ポートフォリオを対象としており、企業活動とし ての責任ある事業運営(例:エネルギーや資源の利 用、出張、雇用慣行、調達プロセス、企業行動)に伴 うリスクや影響、機会は対象としていません。

責任投資の実践:プログラム実施へのアプローチ

当社は、責任投資のコミットメントを以下の主要な活動を通じて実践しています: スチュワードシップ、ESGインテグレーション、お客様の方針と整合する際のポートフォリオ全体を通じたポジティブなインパクトの創出。これらの活動は、インパクト測定、気候分析、報告・透明性に焦点を当てた独自のデータやテクノロジーによって支えられています。

スチュワードシップ

当社のスチュワードシップのアプローチは、お客様に対する受託者責任に基づき、長期的な価値創造を支援できると考えられる投資関連の知見を得ることを目的としています。

スチュワードシップは、お客様にとって重要なテーマについて幅広い活動を推進し、投資の長期的なリスクや機会に影響を与え得るものです。これにより、発行体、ステークホルダー、投資コミュニティのメンバーに働きかけ、ガバナンスの強化、透明性の向上、説明責任の促進、そしてお客様の成果改善につながる現実的なインパクトを実現することを目指します。

ヌビーン全体では、スチュワードシップ活動を以下 の3つに分類し、様々な手法を用いて実施してい ます。

- ・エンゲージメント
- 権利と責任
- 政策提言とアドボカシー

エンゲージメント

当社は、エンゲージメント(発行体や関係者との対話)はお客様資産の有効な基準としての役割において不可欠であり、価値を維持・向上させるために重要であると考えています。

多様な投資家としての大きさや規模、そして投資先の主体をアクティブに運用するマネージャーとしての深い知識を活かし、企業やその他のステークホルダーと直接的かつ建設的な対話を行うことが可能です。エンゲージメントは、電話会議、対面ミーティング、書面でのやり取りなど、様々な形態を取ります。

当社の多様なポートフォリオ全体でのエンゲージメントは、テーマ、関与するステークホルダー、参加者、目的、成果などにおいて多面的なアプローチを取っています。これはケースごとに最も関連性の高い要素を反映しています。

当社は、通常、発行体の経営陣や取締役会と対話し、パフォーマンス向上や長期的な持続可能な価値

創造を支援できると考える責任投資のベストプラクティス採用を働きかけています。発行体およびポートフォリオの企業に加えて、エンゲージメント対象および参加者には、引受会社、資本市場参加者、ソブリンおよび地方自治体の債務発行者、テナント、運営者、請負業者、コミュニティ、投資家が含まれます。

該当する場合には、エンゲージメント成果の追跡は、 当社の投資スチュワードシップ活動の重要な側面 であり、責任投資とクライアントへのエンゲージメントの利点を明示します。当社独自の「透明性、説明 責任、影響」フレームワーク(現在、主に公開株式 のエンゲージメントに適用)により、エンゲージメント の成果が達成したことを誇張することなく、前向きな エンゲージメントの成果を伝えることができます。当 社の取り組みは、市場の変化を促進し、クライアントやステークホルダーの成果に貢献する多くの要因 の1つであることを認識しています。

権利と責任

• 議決権行使

議決権行使は、株主が上場企業のガバナンス慣行に影響を与えるための主な手段です。当社は、 議決権行使を株主の基本的な権利かつ責任と 捉え、株主の最善の利益に資すると考える方法 で投票します。議決権行使を通じて、投資家は投 資先企業の取締役会や経営陣を支援または牽 制することができ、ガバナンスおよび監督におけ るベストプラクティスの採用を促進し、価値創造 や長期的な成果に貢献する可能性があります。

当社では、特段の取り決めがない限り²、スチュワードシップチームが運用資産の議決権行使を実施します。議決権行使の判断にあたっては、投資チームからの意見や第三者調査機関の分析を考慮に入れます。また、当社は議決権アドバイザーが提供するサービスを、当社独自の調査方針の参考とし、既定の投票方針や手続きに沿って議決権を行使します。当社は、画一的な「一律対応」は適切ではないと考えており、同一の議案であっても、投資先企業の状況に応じて

異なる投票を行う場合があります。

「ヌビーン議決権行使方針とガイドライン」は、議 決権行使活動の基盤となる枠組みであり、一貫 性、受託者責任との整合性、遵守を確保するた めに策定されました。これらは、お客様の最善 の利益を優先するという当社のコミットメントを 反映しています。

さらに、当社の議決権行使委員会は、議決権行使に関する方針・手続きを監督し、そのガバナンスフレームワークを提供するとともに、関連法規に基づく報告義務や記録保持義務を果たします。

• 資産クラス全体における権利と責任

資産クラスごとの権利や責任の行使は、所有構造、支配権の程度、契約上の取り決め、資産ライフサイクルやプロジェクト段階といった要素に応じて様々な形を取ります。当社は、経済的なエクスポージャーや利用可能な影響力の範囲に応じて、一貫性と比例性を持って権利と責任を行使するよう努めています。

たとえば、アクティブに運用する債券戦略では、 スチュワードシップ責任を果たすために利用可能なさまざまな仕組みがあります。新しいインパクト債券の発行や資本構成の変更(リストラクチャリングやデフォルトなど)において、発行体や資本市場の参加者と協力し、責任関連の慣行や規定を強化する機会が生まれます。

また、不動産、インフラ、森林、農地などの実物 資産ポートフォリオにおいては、持続可能性に 関する慣行を実施または採用を促す機会があり ます。例えば、サービス提供者や請負業者の入 札・選任プロセスにおいて、サステナビリティの 考慮やガイドラインの遵守を要件とし、契約に組 み込むことができます。さらに、オペレーター、テ ナント、顧客、地域社会といったステークホルダ ーを調査、研修、パートナーシップ、認証制度な どを通じて巻き込むことも可能です。特定資産 に対して完全または過半数の持分を取得する

² Winslow Capital Management, LLC(当社の完全子会社)は独自の投資哲学と受託者責任、お客様ガイドラインに基づき独自に議決権を行使します。

場合、持続可能性基準を事業計画の重要要素とすることができます。

• *エスカレーション*

当社は、投資家や資本提供者としての大きさ・ 規模・影響力を活用し、パートナーシップ重視の アプローチで発行体に働きかけることの利点を 確認しています。これは、一方的で強制的な手 法による変化の押し付けではありません。ただし、 建設的な対話によって望ましい成果が得られな い場合、他の手段を検討してエンゲージメントを 強化する場合があります。エスカレーションは慎 重に用いると最も効果的であると考えており、当 社は段階的かつ的を絞った方法で戦略を実行し ます。

エスカレーションの手段には、経営陣に対する 反対票の行使、株主提案の提出、契約上利用 可能なその他の権利の行使、他の投資家や業 界団体と連携した共同エンゲージメント、契約に 基づく取り決めの履行要求、公的声明の発出、 投資の縮小または撤退が含まれます。これらの 手段はケース・バイ・ケースで検討・実行され、 状況固有の要素を考慮します。判断にあたって は「投資を最優先とする」アプローチを取り、独 立して意思決定を行います。

政策提言とアドボカシー

• 業界との協働

当社は、持続可能性基準の改善や責任投資のベストプラクティス推進に寄与するため、複数の業界イニシアチブや会員組織に参加し、積極的なメンバーとして活動しています。業界への関与を通じて知識や視点を共有することは、責任投資の発展を促進し、お客様にとってより効率的な成果を生み出すと信じています。

これらのイニシアチブや組織への参加は慎重かつ意図的に行われ、当社の目標と整合する組織と意義あるパートナーシップを築くことを目的としています。

• 公的政策とアドボカシー

業界団体での活動に加え、当社は各国・各地域 レベルで規制当局や政策立案者と関わり、正式 な政策協議やその他のチャネルを通じて意見交 換を行っています。当社は、グローバルに責任投 資のベストプラクティスを促進することを目指して おり、それが長期的かつ持続可能な成長を支え ると考えています。

具体例としては以下が挙げられます。

- ・ 投資判断を支援するため、投資先市場に対し て関連性が高く、一貫性があり、比較可能な 情報開示を求めること
- ・ 責任投資に関する明確で実用的な報告基準 を推進し、投資家が情報を信頼できる環境を 整えること
- ・ 投資先資産や当社ビジネスにおけるリスクを 軽減し、または新たな機会を創出する政策を 支持すること

ESGインテグレーション

当社は、ESGインテグレーションを「投資判断プロセスにおいて財務的に重要な環境・社会・ガバナンス(ESG)要因を考慮すること」と定義しています。 ESGインテグレーションは、ESGに関連する潜在的なリスクや機会を特定し、投資の相対的価値をより適切に評価することを目的としています。財務的に重要なESG要因を従来の財務分析と併せて検討することで、より包括的な投資判断が可能になります。当社は、資産クラスを横断したESGインテグレーションの透明性とベストプラクティスの普及が、お客様に利益をもたらすと考えています。

ESG要因の財務的重要性や適用性は、資産クラスや投資戦略によって異なります。ESG要因は投資判断において考慮される多くの要素の1つに過ぎず、関連する募集要項や目論見書に明示されていない限り、投資ガイドライン、戦略、目的を変更するものではありません。インデックス連動型のような一部の投資戦略は、投資判断プロセスにESG要因を組み込みません。

• 実施方法

ESGインテグレーションの活動は、中枢の責任投資チーム、各分野の専門家、投資チームの協働によって実施されます。その焦点は、財務的に重要なESGテーマや要因を特定し、ESG情報へのアクセスを容易にすることです。中枢の責任投資チームや資産クラスごとに配置されたサステナビリティ専門家が、組織全体の主要なステークホルダーと密接に連携し、投資チームが利用できるESGデータやリソースの規模と質を高めています。

投資プロフェッショナルは、各資産クラスや戦略に応じて、お客様の方針に従い、従来の財務分析と並行して財務的に重要なESG要因を考慮する責任を負っています。必要に応じて、投資前のESG分析や、保有期間中・売却時のESG要因のモニタリングも行います。ESG要因には決まった定義が存在しないため、当社は独自のフレームワーク、ガイドライン、格付け、モデル、ツールを作成し、投資チームがESGインテグレーションを実践できるよう支援しています。

インパクト

一部の投資戦略において、当社は競争力のある財務リターンと並行して、社会的・環境的なポジティブなインパクトを追求します。3 当社は、インパクト投資を「リスク調整後で競争力のあるリターンを生み出すと同時に、環境または社会的な成果に対して意図的・直接的かつ測定可能なポジティブ効果をもたらす投資」と定義しています。ポジティブなインパクト成果を創出する意図と、それを追跡・報告できる能力が、インパクト投資をその他のサステナブル投資やESGインテグレーション戦略と区別する点です。

当社は、投資が社会や環境に影響を与える可能性があることを認識しています。そのため、可能な限りお客様の方針に従い、ポジティブな影響を促進し、ネガティブな影響を軽減することを目指しています。公開市場・非公開市場を問わず、資産クラス全体で特定の、測定可能でポジティブな社会的・環境的成果を追求できる機会は増加しています。それらは長期的な財務リターンにも寄与し得ると考えています。当社は、こうした機会を特定し、投資の成果を測定することに注力しています。

³ インパクト戦略には、インパクト、ESGリーダー、伝統的証券がさまざまに混在している場合があります。この可能性は、関連会社や再助言契約を含む、ファンド全体の戦略/手段に反映されます。

気候リスク

気候関連のリスクと機会は、最も重要な系統的課題の一つに発展してきました。これに伴い、当社の気候プログラムは、リサーチ、データ、分析、投資プロセス、商品、研修、エンゲージメント、外部パートナーシップを含む包括的な取り組みへと拡大しています。

当社の投資チームは、気候リスクをESGインテグレーションフレームワークの一部として考慮しています。これには、投資パフォーマンスへの物理的リスクや移行リスクが含まれ、サステナビリティの専門家、気候リスク専門家、中枢の責任投資チームからの支援を受けています。気候リスクは将来を見越した多様な性質を持つため、投資チームは、一般的に、地理空間データ、気候シナリオデータ、炭素排出データなど、さまざまな専門的データを活用してエクスポージャーを評価します。必要に応じて、リスク管理部門によるトップダウンの気候リスク評価が、投資チームによるボトムアップの統合分析を補完します。

当社は、お客様の気候関連投資目標を幅広く支援することができます。例えば、脱炭素化、ネットゼロ、炭素集約型資産へのエクスポージャー削減・回避、気候ソリューションの支援などです。実際に当社は、「TIAAー般勘定の2050年までのネットゼロへの取組み」の実行をサポートしており、これはお客様が気候移行リスクに対して持つ投資信念を反映しています。

資産クラス単位では、ヌビーン・リアル・エステートは「2040年までに不動産ポートフォリオにおけるカーボンニュートラル達成」を目標としています。

また、当社の親会社であるTIAAのネットゼロへの取組みは、当社自身の事業運営からの排出にも適用されます。

ネットゼロ実行に関する進捗は、当社全体および資産クラスレベルの報告において公開されています。 ポートフォリオ単位の報告も可能です(報告と透明性を参照)。 当社の責任投資活動は、自社開発のデータ、テクノロジー・ソリューション、外部サービス提供者によって支えられています。外部のデータベンダーやサービス提供者の専門知識を活用することで、社内能力や投資デューデリジェンスを補完し、幅広い資産クラスにわたるESGデータのカバレッジを強化しています。これらのデータや情報は複数のプラットフォームに集約され、投資チームが利用できるように提供されています。その結果、ESG情報がより容易に活用可能となり、財務的に重要な要因に関するポートフォリオ分析や投資判断プロセスを支援します。

先進的なESG分析やお客様向けレポーティングを 推進するため、当社は自社プラットフォームやデータ、テクノロジー基盤への投資を継続するとともに、 業界をリードする投資サービス・ソリューション提供 者との統合やパートナーシップを強化しています。

除外方針

企業全体の方針として、当社は資産クラスや投資 戦略全般にわたり一律のESG関連の除外方針や 投資制限を設けていません。当社は、除外や売却 よりも、スチュワードシップやエンゲージメントを通じ て責任ある企業行動を前向きに促進し、時間をか けて投資のESGプロファイルを向上する方が有効 であると考えています。

ただし、特定の当社の事業体や一部の投資ビークル、戦略、ファンドにおいては、資産クラス、投資戦略、お客様の要望、地域の市場基準に応じて除外方針を採用し、スクリーニングを実施する場合があります。これらの要素は、商品設計、ポートフォリオ構築、リスク管理のプロセスに組み込まれています。

例えば、特定の当社ファンドでは、論争の的となる 兵器や軍需兵器の製造・販売、アルコール、たばこ、 銃器、ギャンブル、石炭を除外対象としています4。

また、当社は、お客様のガイドラインに従い、明確 な責任投資の目標や規範、価値観を反映させる投 資ソリューションを提供することも可能です。

https://documents.nuveen.com/Documents/Global/Default.aspx?uniqueId=48065b45-0aid-478a-855d-ce0iac3373d7 で入手できます。

データとテクノロジー

⁴ 各UCITSファンドに適用される除外のリストは、

投資チームは、発行体の方針や活動に関連する 財務的・評判的リスクの評価に基づき、継続投資 が適切でないと判断した場合には、特定のアカウ ントから投資を撤退または削減することを検討しま す。ただし、この場合も受託者責任に沿った形で 実行できる場合に限ります。

さらに、特定の証券は、米国や国際機関による制 裁措置に基づき、ポートフォリオにおいて制限また は除外される場合があります。

外部ガイダンス

当社の責任投資活動は、市場原則とフレームワーク、規制要件、業界標準に基づいており、各地域 や資産クラスによって異なります。

個別のチームや事業部門は、必要に応じて外部 専門家の助言を求めたり、コンサルタント、技術パートナー、保証提供者、その他独立した組織と協力する場合があります。これらの取り組みは、規制遵守、期待への対応、ベストプラクティスの遵守を実証するために、認証、検証、または保証を取得することを目的としています。

報告と透明性

当社は、責任投資に関する活動について、お客様、 ステークホルダー、そして広く市場に対して高い透明性を確保することを目指しています。

当社は、お客様のニーズ、業界標準、ベストプラクティス、そして規制要件を満たす責任投資関連の報告や開示を提供することに取組んでいます。これには、スチュワードシップ、サステナビリティ、インパクトに関する年次レポートが含まれ、企業全体の活動や特定の資産クラスに関する情報をカバーしています。さらに、お客様からの要望や協議を経て、特定ファンドに関するESG報告書を提供することも可能です。

規制上の考慮事項

責任投資を取り巻く規制環境は、世界各地で発展 し続けています。各種の公共政策や規制の取り組 みは、当社の投資、お客様、そして事業全般に影 響を与えます。

当社はこれらの動向を積極的に監視し、各事業における主要機能のリーダーと連携しながら、関連するリスク、影響、機会を管理するとともに、それらがお客様にどのように影響を及ぼす可能性があるかを理解するよう努めています。

当社の責任投資への取組みは、複雑で変化の激 しい世界において、強固な投資パフォーマンスを 提供するという当社の基本姿勢に根ざしています。

利益相反

当社は、誠実さと公正な取引に取り組んでおり、ビジネス倫理と誠実性に関連する潜在的な利益相反を適切に管理することを重視しています。当社の方針は、すべての状況においてお客様の利益を第一に考え、お客様各位の利益を保護することです。これらの取組は、全役職員が年次で承認する企業行動規範に明示されています。

当社は、取引およびオペレーションに関連するプロセス、議決権行使、倫理に関わるさまざまな活動について強固な管理体制を維持しています。その範囲は以下を含みますが、これらに限定されるものではありません:個人による証券取引、重要な非公開情報の取り扱い、贈答・接待、社外での事業活動。これらの分野はすべて、書面による方針とガバナンスの枠組みに基づき運用されています。

ガバナンスに対する当社のアプローチ

役割と責任

責任投資は、グローバル全社的に事業パートナーと協力しながら、専任の集権的チームによって実行される戦略的優先事項です。

中枢の責任投資チームに加え、資産クラスごとの 専門家、投資プロフェッショナル、さらにマーケティ ング、商品・販売、法務、リスク、コンプライアンス、 テクノロジーといった業務支援機能との連携によ って、実行が支えられています。

この体制により、「集権的戦略、現場実行」という モデルが可能となり、説明責任、実行力、効果、 計測能力が強化されます。

ガバナンスと監督

TIAAの子会社として、当社のガバナンスは企業 全体のガバナンス構造に組み込まれており、それ は責任投資に関する特定の監督・説明責任も含 まれています。

当社は、責任投資プログラム全体を監督・開発・ 実行するためのガバナンス・マトリクスを確立しています。これにより、責任投資が事業上の意思決定と並行して果たす役割が反映されるよう、既存のガバナンス機関に監督を統合しています。当社は、お客様、市場、規制、事業上の期待に照らし、定期的にガバナンス体制を見直しています。

当社の責任投資ガバナンス構造は、以下の3本柱で構成されています:

- 取締役会による監督
- 経営陣の説明責任
- 部門横断的な実行

また、多様なポートフォリオを持つ当社の各関連会社や事業体においても、資産クラスや投資戦略に応じたガバナンス機関が設置され、投資委員会などで責任投資関連のテーマが取り上げられます。

取締役会による監督

責任投資が部門横断的な性質を持つことを踏まえ、 TIAAの企業取締役会や、特定の活動については複数のファンド取締役会5が、当社の責任投資戦略と その実行を監督しています。これらの取締役会や委員会は、監督責任の一環として、管理する資産に関して以下を実施することがあります。

- 責任投資に関する全体的な投資運用哲学やアプローチの確認
- 経営陣に対する責任投資戦略・プログラムの実行 に関する監督や指示(ESGインテグレーション、エンゲージメント、議決権行使、インパクト投資を含む)
- 経営陣からの定期的な報告をモニタリングし、責任投資の進展、課題、トレンド、規制関連事項について協議・助言・指示を行うこと

経営陣の説明責任

TIAAのリーダーシップチームおよび当社のエグゼクティブ・マネジメント・チーム(EMT)は、責任投資プログラムに関する監督と説明責任を担っています。 当社のCEOはTIAAリーダーシップチームの一員であり、責任投資グローバル責任者はEMTのメンバ

ーとしてCEOに直接報告します。EMTは、最終的に

責任戦略の策定と実行に責任を負います。

経営陣は定期的に会合を持ち、四半期ごとの会議では、事業部門の業績レビュー、リスクや課題の調整、部門横断的な最新情報の共有を行っています。

⁵ たとえば、改訂後の1940年投資会社法に基づいて登録されたファンドの取締役会には、一定の監督義務があり、監督するファンドに関連するさまざまな責任投資事項に関して指示を出す権限があります。

部門横断的な実行

責任投資に関連する戦略的取り組みの実行は、複数のワーキンググループや委員会によって担われています。これらの部門横断的機関は、関連事業部門のシニアマネジメントで構成され、当社の責任投資チームのリーダーや代表も参加しています。

実行の対象領域には、企業のサステナビリティ・プログラム、気候リスク管理、商業的ポジショニング、商品・サービス、オペレーションに関する考慮事項、報告とコミュニケーション、コミットメントおよび規制要件が含まれます。

インセンティブと業績管理

当社全体での業績評価や変動報酬プログラムには、 チームや役割に応じて責任投資やESG関連の目標 が含まれる場合があります。これらの目標はさまざ まな形で表現され、適切に展開されます。評価は通 常、主要業績評価指標(KPI)や成果ベースの目標 に基づいて行われます。

方針の見直しと更新プロセス

本方針は少なくとも年1回、もしくは、必要に応じてより頻繁に見直されます。見直しプロセスは、関連部門の専門家と協議しながら、責任投資チームが主導します。

ヌビーンについて

TIAAの投資運用会社であるヌビーンは、機関投資家および個人投資家の長期的な財務目標を確保するために設計された、成果重視の包括的な投資ソリューションを提供しています。ヌビーンは、2024年12月31日現在、1兆3,000億ドルの資産を運用し、27か国で事業を展開しています。その投資スペシャリストは、幅広いビークルとカスタマイズされた戦略を通じて、伝統的な投資とオルタナティブ投資の包括的な範囲にわたる深い専門知識を提供します。詳細については、www.nuveen.comをご覧ください。

Version control

Policy adoption date	March 2025
Date of last review	March 2025
Effective date of current policy	March 2025
Policy owner	Nuveen Executive Management Team
Policy leader	Amy O'Brien, Global Head of Responsible Investing

責任投資に関する詳細については、当社ウェブサイト(nuveen.com)をご覧ください。

後注

リスクについて

過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。すべての投資には、元本の損失の可能性を含むリスクが伴い、投資が一定期間にわたって プラスのパフォーマンスをもたらすという保証はありません。特定の製品およびサービスは、すべての事業体または個人が利用できるとは限りません。投資目的が 達成される保証はありません。

責任投資には、発行体、セクター、業界へのエクスポージャーに影響を与える可能性のある環境・社会・ガバナンス(ESG)要因が組み込まれており、利用可能な投資機会の種類と数が制限されるため、パフォーマンスの高い投資が除外される可能性があります。

ヌビーンは、投資専門家を通じて投資顧問ソリューションを提供しています。

